



こんにちは

# 村田けい子

です

2016.10.28

No.74

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



立科町・茅野市の境界を示す石碑



「こら辺にあるはずなんだけど・・・」

みなさん、お疲れ様でした。

## 10.21 茅野市との境界踏査行われる。

毎年行われている境界踏査、茅野市との境界を2区画に分けて歩いて調査し、図にある地点の確認をする作業が立科町総務経済常任委員会のメンバーと町役場総務課の担当者、茅野市の柏原財産区の役員とで行われました。山は美しく紅葉していましたが、上に目が行ったのは最初だけ、あとは木の根につまづかないよう、転ばないように地面を見ながら、必死で歩きました。

境界を示す石碑のある基準点からメジャーで距離を測り、赤く彩られた目印を確認する作業ですが、クマザサに覆われたり、土で覆われたりでなかなか見つからないところが多く大変な作業でした。今年は当番が立科町ということで、担当者は目印を

つける赤のスプレーやメジャー、土を掻く鋤簾（じょれん）やスコップ、そして境界を示す地図とたいへんな装備でした。

今回の作業のために、木の枝などに赤い目印をしっかりとつけることと、番号を書いた紙をもって写真に残しておくこと、確認が容易になるのではないかと思います。

毎年行われている境界の確認、お疲れ様でした。



境界の杭



カエルの顔？

今週のパチリ

境界踏査の到着地点が大門峠、信号のわきにある公園にあるのは鳴石か？

石でたたくとゴンゴンと共鳴する。石と石の間に空間があり、響く構造になっている。第2牧場にもあるというが、旅の安全を祈願したものではないかと言われている。それにしてもカエル君に似ていますね。

### 《9月議会報告会》

11・12(土) 13:30～

立科町公民館

オスプレイについてのDVD上映もあります。

お話 藤岡 義英 県議

村田 桂子 町議

ご参加お待ちしております。

町政・県政・国政など何でも語り合しましょう。藤岡県議に大いに語っていただきます。



介護保険制度など議会質問や堆肥化問題、大北森林組合の不明朗会計追及、オスプレイの配備に反対する運動について、など、議会での取り組みについてお話しします。

また、ご意見ご要望などお気軽にお寄せ下さい。みなさんのご参加をお待ちしています。

## 議会主催の「町の未来を語る会」各地域集会所で始まる。

議会での主な取り組みを伝え、町民のみなさんからの要求やご意見などをうかがう地域懇談会「町の未来を語る会」が始まりました。

立科町のそれぞれの地域が抱える問題を出し合い、その解決に向けて夢やアイデアを出し合い考えあう会になればいいと思います。

議会としては、出されたご意見をまとめて、来年度に政策として提案したり、町と調整して解決に向けて取り組む意向です。

【これまでのご意見】ほんの一部です。

・山の索道事業について、動く歩道などを修正したのは？指定管理など経営改善について、推進室とは？

- ・空き家対策・有効活用について
- ・病院などへの足の確保について
- ・介護保険の地域包括システムについて
- ・社協での移送サービスを
- ・高校通学費の補助を。



## 【ナウマンゾウ(?)から信玄まで、立科町を通った！】 10/20

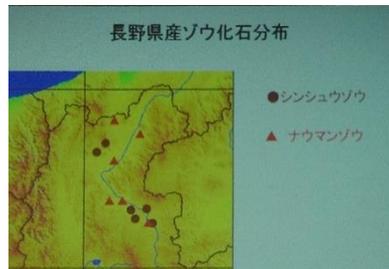
町の成り立ちを地質から解き明かす 宮坂教育長より講義を受ける 立科町歴史研究会の講演会



町の山が分水嶺となっている。

また交通の要衝であり、古くは縄文時代、大和朝廷が東国征伐の折、この道を通ったのではないか、(古東山道)軍隊道路として山を目印にほぼ一直線に進んでいったのではないかということが様々な出土品からわかること。

峠を越えるときに無事に超えられるよう、「荒ぶる神」を鎮める神事が行われ、様々な捧げものをしたのではないかと思われ、第2牧場にある鳴石も祭事に使われたと思われ、多くの出土品があるとのこと。またその中でワラビ手刀(手に持つ部分がワラビの様にくりと丸くなっている刀)が全国で200見つかったが、そのうちの3つが立科町から出土しており、在所も明らかであること。



ナウマンゾウなどの骨が見つかる場所

TPP国会審議・・・十分な審議を保障しその危険性をきちんと国民に知らせるべきです。アメリカでTPPが批准される可能性は低いというのに、なぜ日本政府は批准を急ぐのでしょうか。国の主権を明け渡す条約です。

## 11.7 衆議院で院内集会 オスプレイの飛行訓練について

10/21 藤野保史衆議院議員は「オスプレイ飛行訓練に関する質問主意書」を大島理森衆議院議長あてに提出し、その回答を受けて11月7日に衆議院で報告集会を開きます。参加者を募集中です。

質問は30項目に及び、ホテルエリア内の動植物の保護や環境への影響について、ドクターヘリとの衝突の危険や訓練空域への侵入経路、訓練の高度や内容、事前通告の有無、日米合意の内容など、多岐にわたっています。

立科町の成り立ちを《地層を見ることで知る》という試みで知らないことだらけの新鮮な講義でした。

町の場合は、400万年前には巨大な(50km x 20km)湖であったが、100万年前にその中から噴火があって、蓼科山はその最後の噴出物であること。また蓼科山はその形から古代より信仰の対象であったこと。ナウマンゾウやシンシュウゾウが佐久地域のこころ辺を歩いていたのではないか、というお話です。

さらに「信玄の棒道があり、姫街道といわれ旅程に大きな狂いのないことから大いに利用された中山道など重要な交通路であったこと、また稲核ダムから東京へ電気を送るエネルギーの道でもある。」とのお話に、地理的にも歴史的にも、立科町が極めて重要な位置にあることがわかりました。

最後に先生の「自分が勉強しないと誇れないし伝えられない」とのお言葉に得心をしました。大いに学んで、立科の魅力を発信したいと思います。